様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2026年　6月11日

茨城県　　殿

提出者
住　所　大阪府大阪市北区中之島2-2-7
氏　名　レンゴー株式会社
代表取締役社長　川本　洋祐
電話番号 06-6223-2371

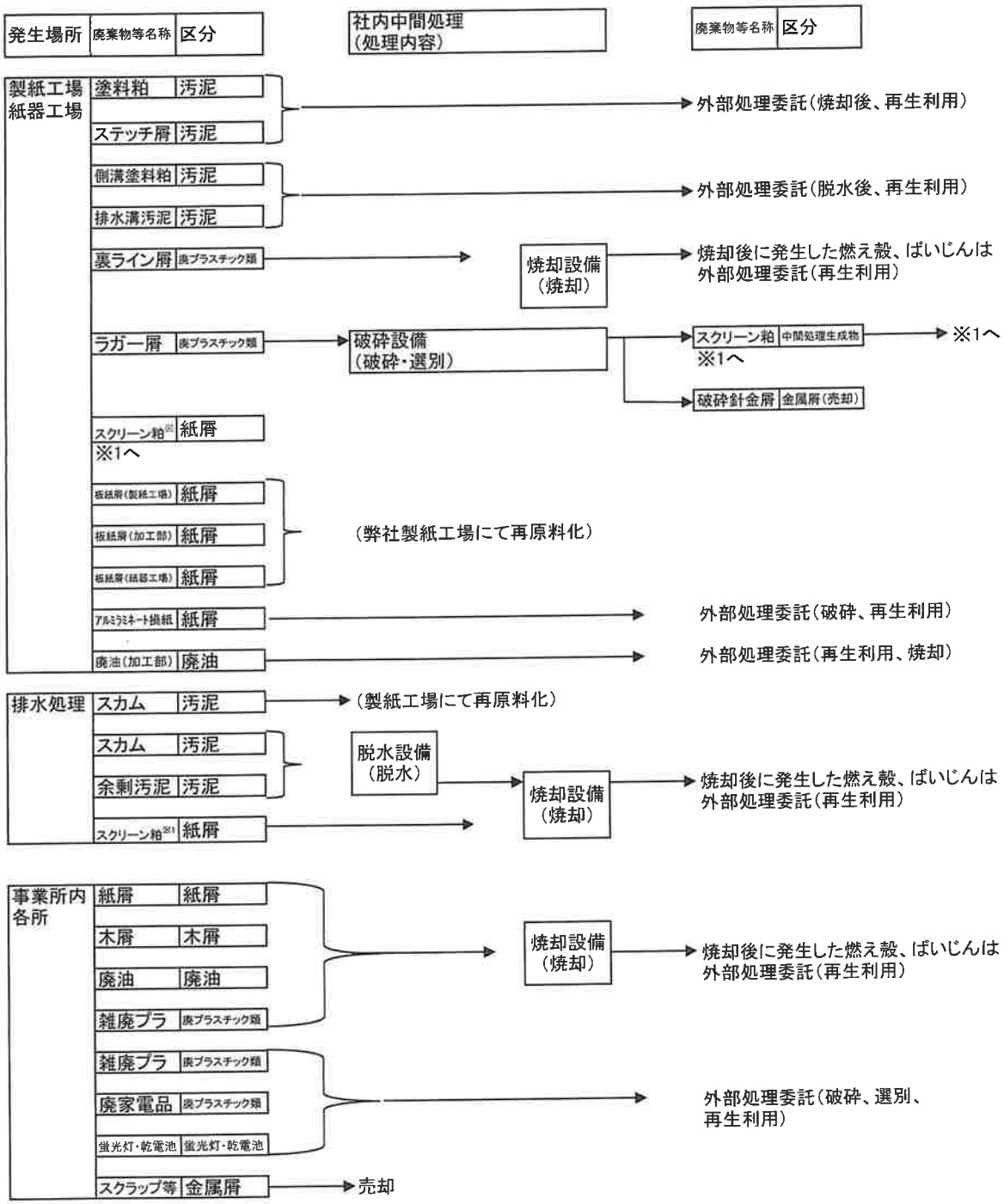
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	利根川事業所
事業場の所在地	茨城県坂東市岩井5269
計画期間	令和8年4月1日　～　令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	14　パルプ・紙・紙加工品製造業
②事業の規模	48,412百万円
③従業員数	409人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙記載の通り

茨城県 令-8.6.15 県西県民センター 受付

（日本工業規格　Ａ列４番）

【別紙】産業廃棄物の処理の工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

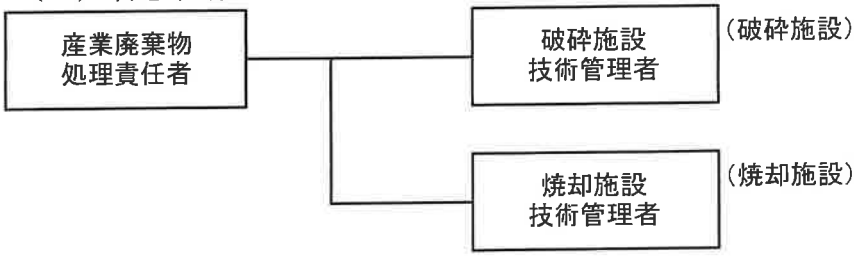
（１）産業廃棄物処理責任者：総務部長

（２）産業廃棄物処理施設技術管理者

1) 破砕施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

2) 焼却施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

（３）管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
排　出　量	5836　t	614374　t

（これまでに実施した取組）

当事業所の環境マネジメントシステムにおいて非リサイクル廃棄物原単位削減について環境目標を設定し、廃棄物発生量の削減に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
排　出　量	5927　t	623979　t

（今後実施する予定の取組）

上記の取組に加え、以下の取組を行う。
燃え殻：原単位の向上による廃棄物の削減、廃棄物の分別・再使用等を更に進め、廃棄物焼却量の削減に努める。
汚泥：製紙原料の品質向上、生産上の各種ロスの低減等を更に進め、廃棄物の発生量の削減に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

事業所内各所に産業廃棄物等保管施設を設置し分別。他の廃棄物が混入しないよう確実に分別、保管を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き事業所要員に対して産業廃棄物等の分別に関する教育を実施し、分別状況の監視としてパトロールを実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
汚泥：排水処理汚泥（スカム）を製紙工場で製紙原料として再生利用している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も継続して上記の取組を実施する。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	614133 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙の通り t	t

（これまでに実施した取組）
汚泥：排水処理汚泥を脱水し、バイオマスボイラーで焼却することにより熱回収と減量化を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	623735 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当する処分を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する処分を実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
全処理委託量	5836 t	241 t
優良認定処理業者への処理委託量	114 t	163 t
再生利用業者への処理委託量	5836 t	163 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
原単位の向上、各種ロスの低減による廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物の分別・再使用のため分別マニュアルを作成している。廃棄物の処分委託先に再生利用業者を選定している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥（泥状のもの）
		全処理委託量	5927　t	244　t
		優良認定処理業者への処理委託量	116　t	166　t
		再生利用業者への処理委託量	5927　t	244　t
		認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者への廃棄物処理委託を行う。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ廃棄物処理委託を行う。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

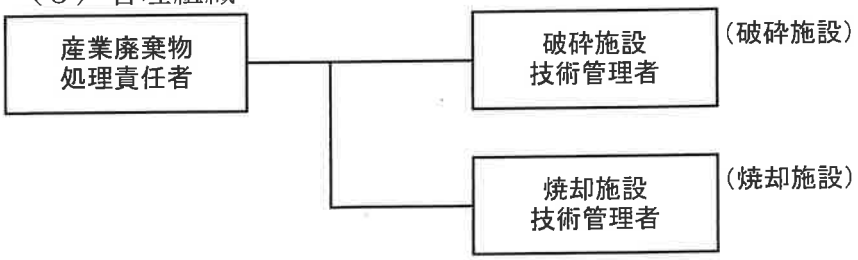
（１）産業廃棄物処理責任者：総務部長

（２）産業廃棄物処理施設技術管理者

1) 破砕施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

2) 焼却施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

（３）管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
排　出　量	29　t	6416　t

（これまでに実施した取組）
当事業所の環境マネジメントシステムにおいて非リサイクル廃棄物原単位削減について環境目標を設定し、廃棄物発生量の削減に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
排　出　量	29　t	6516　t

（今後実施する予定の取組）
上記の取組に加え、以下の取組を行う。
廃油：印刷ロスの低減等を行い、原単位の向上に努める。
廃プラスチック類：製紙原料の品質向上、生産上の各種ロスの低減、梱包資材の適正使用等を行い、廃棄物の発生量の削減に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
事業所内各所に産業廃棄物等保管施設を設置し分別。他の廃棄物が混入しないよう確実に分別、保管を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き事業所要員に対して産業廃棄物等の分別に関する教育を実施し、分別状況の監視としてパトロールを実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当する再生利用を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する再生利用を実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	9 t	6408 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9 t	6408 t

（これまでに実施した取組）
廃油：バイオマスボイラーで焼却し熱回収と減量化を行っている。
廃プラスチック類：（ラガー屑）を破砕・選別し、金属部分を売却するとともに、プラスチック部分をバイオマスボイラーで焼却し熱回収と減量化を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	9 t	6508 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	9 t	6508 t

（今後実施する予定の取組）
今後も継続して上記の取組を実施する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当する処分を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する処分を実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
全処理委託量	20 t	9 t
優良認定処理業者への処理委託量	20 t	9 t
再生利用業者への処理委託量	20 t	9 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
原単位の向上、各種ロスの低減による廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物の分別・再使用のため分別マニュアルを作成している。廃棄物の処分委託先に再生利用業者を選定している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
		全処理委託量	9　t	12　t
		優良認定処理業者への処理委託量	9　t	12　t
		再生利用業者への処理委託量	9　t	12　t
		認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者への廃棄物処理委託を行う。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ廃棄物処理委託を行う。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

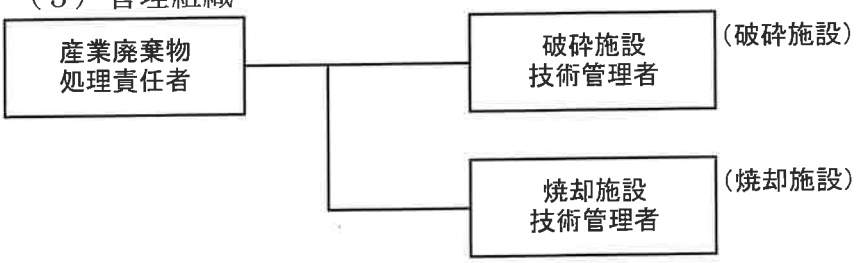
（１）産業廃棄物処理責任者：総務部長

（２）産業廃棄物処理施設技術管理者

1) 破砕施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

2) 焼却施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

（３）管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
排　出　量	22482　t	1　t

（これまでに実施した取組）

当事業所の環境マネジメントシステムにおいて非リサイクル廃棄物原単位削減について環境目標を設定し、廃棄物発生量の削減に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
排　出　量	22833　t	0　t

（今後実施する予定の取組）

上記の取組に加え、以下の取組を行う。
紙くず：製紙原料の品質向上、生産上の各種ロスの低減、不良製品の削減等を更に進め、廃棄物の発生量の削減に努める。
ガラスくず：廃棄物の分別を適正に実施することにより、廃棄物の発生量の削減に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

事業所内各所に産業廃棄物等保管施設を設置し分別。他の廃棄物が混入しないよう確実に分別、保管を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き事業所要員に対して産業廃棄物等の分別に関する教育を実施し、分別状況の監視としてパトロールを実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	22421 t	0 t

（これまでに実施した取組）
紙くず：板紙屑を製紙工場及び自社他工場で製紙原料として再生利用している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	22771 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する再生利用を実施する予定はない。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	50 t	0 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	50 t	0 t

（これまでに実施した取組）
紙くず：スクリーン粕をバイオマスボイラーで焼却することにより熱回収と減量化を行っている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	51 t	0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	51 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
今後も継続して上記の取組を実施する。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当する処分を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する処分を実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
全処理委託量	12 t	1 t
優良認定処理業者への処理委託量	12 t	1 t
再生利用業者への処理委託量	12 t	1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
原単位の向上、各種ロスの低減による廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物の分別・再使用のため分別マニュアルを作成している。廃棄物の処分委託先に再生利用業者を選定している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	紙くず	ガラスくず
		全処理委託量	12　t	0　t
		優良認定処理業者への処理委託量	12　t	0　t
		再生利用業者への処理委託量	12　t	0　t
		認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者への廃棄物処理委託を行う。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ廃棄物処理委託を行う。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

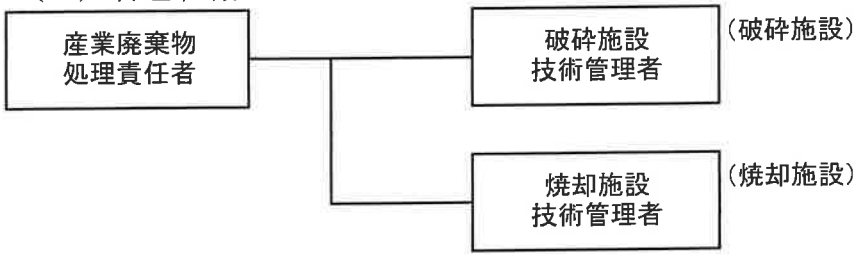
（１）産業廃棄物処理責任者：総務部長

（２）産業廃棄物処理施設技術管理者

1) 破砕施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

2) 焼却施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

（３）管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
排　出　量	5982　t	0.1　t

（これまでに実施した取組）
当事業所の環境マネジメントシステムにおいて非リサイクル廃棄物原単位削減について環境目標を設定し、廃棄物発生量の削減に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
排　出　量	6075　t	0　t

（今後実施する予定の取組）
上記の取組に加え、以下の取組を行う。
ばいじん：原単位の向上による廃棄物の削減、廃棄物の分別・再使用等を更に進め、廃棄物焼却量の削減に努める。
蛍光灯：廃棄物の分別を適正に実施することにより、廃棄物の発生量の削減に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
事業所内各所に産業廃棄物等保管施設を設置し分別。他の廃棄物が混入しないよう確実に分別、保管を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
引き続き事業所要員に対して産業廃棄物等の分別に関する教育を実施し、分別状況の監視としてパトロールを実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当する再生利用を実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 該当する再生利用を実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当する処理を実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 該当する処理を実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当する処分を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する処分を実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	ばいじん	蛍光灯
全処理委託量	5982 t	0.1 t
優良認定処理業者への処理委託量	754 t	0 t
再生利用業者への処理委託量	5982 t	0.1 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
原単位の向上、各種ロスの低減による廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物の分別・再使用のため分別マニュアルを作成している。廃棄物の処分委託先に再生利用業者を選定している。

<table>
<tr><td rowspan="9"></td><td rowspan="9">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>ばいじん</td><td>蛍光灯</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>6075　t</td><td>0　t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>765　t</td><td>0　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>6075　t</td><td>0　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>0　t</td><td>0　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>0　t</td><td>0　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・可能な限り優良認定処理業者への廃棄物処理委託を行う。
・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ廃棄物処理委託を行う。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

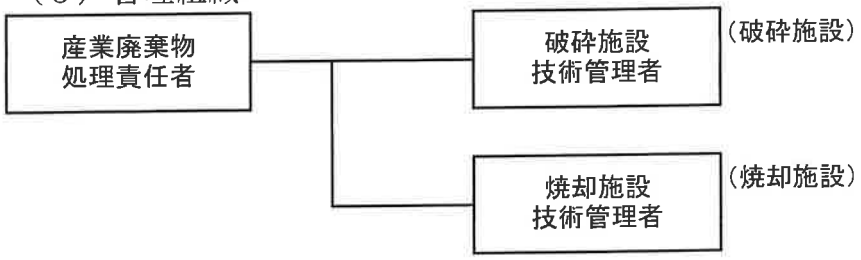
（１）産業廃棄物処理責任者：総務部長

（２）産業廃棄物処理施設技術管理者

1) 破砕施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

2) 焼却施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

（３）管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
排　出　量	0.4　t	10　t

（これまでに実施した取組）

当事業所の環境マネジメントシステムにおいて非リサイクル廃棄物原単位削減について環境目標を設定し、廃棄物発生量の削減に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
排　出　量	0　t	0　t

（今後実施する予定の取組）

上記の取組に加え、以下の取組みを行う
廃棄物の分別を適正に実施することにより、廃棄物の発生量の削減に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

事業所内各所に産業廃棄物等保管施設を設置し分別。他の廃棄物が混入しないよう確実に分別、保管を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き事業所要員に対して産業廃棄物等の分別に関する教育を実施し、分別状況の監視としてパトロールを実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当する再生利用を実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 該当する再生利用を実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 該当する処理を実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 該当する処理を実施する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
該当する処分を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃乾電池	蛍光灯
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t

（今後実施する予定の取組）
該当する処分を実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
全処理委託量	0.4 t	10 t
優良認定処理業者への処理委託量	0 t	10 t
再生利用業者への処理委託量	0.4 t	10 t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t

（これまでに実施した取組）
原単位の向上、各種ロスの低減による廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物の分別・再使用のため分別マニュアルを作成している。廃棄物の処分委託先に再生利用業者を選定している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃乾電池	廃アルカリ
		全処理委託量	0　t	0　t
		優良認定処理業者への処理委託量	0　t	0　t
		再生利用業者への処理委託量	0　t	0　t
		認定熱回収業者への処理委託量	0　t	0　t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0　t	0　t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者への廃棄物処理委託を行う。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ廃棄物処理委託を行う。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）

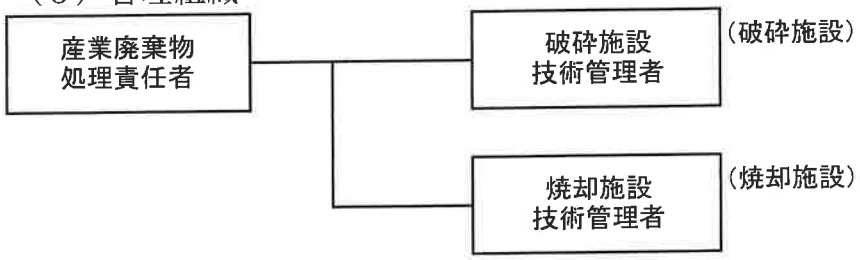
（１）産業廃棄物処理責任者：総務部長

（２）産業廃棄物処理施設技術管理者

1) 破砕施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

2) 焼却施設技術管理者：担当部署である施設部環境課の有資格者から選任。

（３）管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃バッテリー	
排　出　量	0.1　t	t

（これまでに実施した取組）

当事業所の環境マネジメントシステムにおいて非リサイクル廃棄物原単位削減について環境目標を設定し、廃棄物発生量の削減に努めている。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃バッテリー	
排　出　量	0　t	t

（今後実施する予定の取組）

上記の取組に加え、以下の取組みを行う
廃棄物の分別を適正に実施することにより、廃棄物の発生量の削減に努める。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

事業所内各所に産業廃棄物等保管施設を設置し分別。他の廃棄物が混入しないよう確実に分別、保管を実施する。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

引き続き事業所要員に対して産業廃棄物等の分別に関する教育を実施し、分別状況の監視としてパトロールを実施する。

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和 7 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃バッテリー</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当する再生利用を実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃バッテリー</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当する再生利用を実施する予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（ 令和 7 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃バッテリー</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
該当する処理を実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>廃バッテリー</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>0 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
該当する処理を実施する予定はない。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃バッテリー	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
該当する処分を実施していない。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	廃バッテリー	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t

（今後実施する予定の取組）
該当する処分を実施する予定はない。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 7 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃バッテリー	
全処理委託量	0.1 t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.1 t	t
再生利用業者への処理委託量	0.1 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t

（これまでに実施した取組）
原単位の向上、各種ロスの低減による廃棄物の削減に取り組むとともに、廃棄物の分別・再使用のため分別マニュアルを作成している。廃棄物の処分委託先に再生利用業者を選定している。

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃バッテリー	
		全処理委託量	0 t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
		再生利用業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
		（今後実施する予定の取組） ・可能な限り優良認定処理業者への廃棄物処理委託を行う。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ廃棄物処理委託を行う。		
※事務処理欄				